

## 《学 園 東 町 だ よ り》

No.48

## 1. 就任のご挨拶 ～よろしく願いいたします～

学園東町連合自治会 会長 岩本政則

私こと、このたび第33回定期総会決議により、永らく会長を務めていただきました奥浦様の後任として令和5年5月14日より連合自治会長に就任致しました。

自治会の役を務めさせていただくのは初めてのことであり、未熟な点が多々あるとは思いますが、他の役員の皆様をはじめ、住民の皆様のお力添えをいただきながら、精一杯務めさせていただきます。また、お気づきの点や改善すべき点がございましたら、いつでも遠慮なく連合自治会までお声をお届けください。

永らくコロナ禍が続いてまいりましたが、コロナ感染症も2類感染症から5類感染症に変更され少しずつ明るい兆しも見えてまいりました。学園東町はこれまで諸先輩方のご尽力のお陰により「安心、安全で住みやすい、暮らしやすい街」になっております。今後もその流れを止めることなく、住民同士の交流促進、防犯、防災に力を注いで参ります。

会長役を務めさせていただきますが、原点は同じ街に住む住民の一人です。“同じ街に住む仲間のために！”という目線で皆様と一緒に頑張りたいと思います。どうか向こう1年の間、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 2. 第33回学園東町連合自治会定期総会について

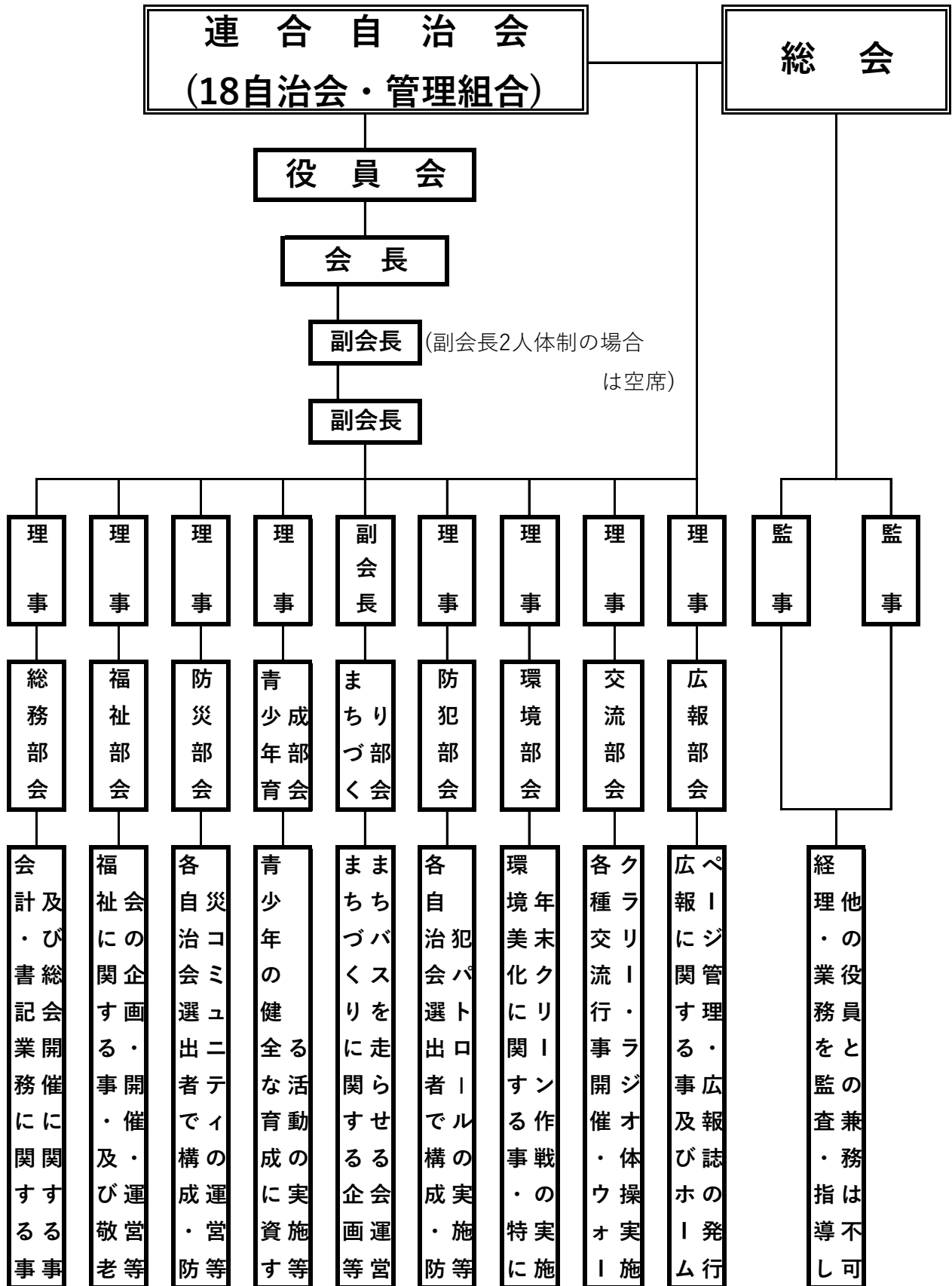
5月14日の定期総会において、第1号議案～第6号議案の全てが議決となっています。

## 3. 第33期担当役職・部会と自治会(管理組合)

(※は部会長)

役職・部会	自治会(管理組合)	役職・部会	自治会(管理組合)
会長	グランドメゾン	※理事・防犯	7丁目・8丁目
副会長	エルタウン5	※理事・交流	エルタウン1
※理事・防災	9・10団地	理事・交流	エルタウン2
※理事・福祉	アーバンライフ	理事・交流	シャリエ
※理事・総務(会計)	6丁目	※理事・環境	カルチェリベルテ
理事・総務(書記)	オーナーズヒル	理事・広報	リーデンススクエア
※理事・青少年	4丁目	理事・交流	3丁目
理事・防犯	エルタウン6	理事・交流	エルタウン3
※理事・広報	パルタウン	※副会長・まちづくり	エルタウン4
監事	7丁目・8丁目	監事	—

4. 学園東町連合自治会の組織と専門部会の役割・活動内容



## 5. 第21回学園東町ウォークラリーを4年ぶりに開催

3月12日曜日に4年ぶりに学園東町ウォークラリーを開催することが出来ました。振り返れば雨天、コロナ、コロナと準備はすれど毎回中止を余儀なくされ、地域の皆様方の記憶からも消し去られていたのではないのでしょうか。

参加者の皆様も久方ぶりであっただけに171名の参加に止まりましたが、今年のウォークラリーは、下記の意味において意義深い開催になったと考えています。

(1)4年ぶりの実質復活開催であったこと。

(2)地域の大学生(今回は流通科学大学生) 13名の応援を得て、協同して開催出来たこと。

自治会活動は曲がり角に来ている、などの論評がされている中で、高齢化・マンパワー不足の環境下での係るイベント実施は、地域住民の交流に加えてコミュニケーションの場を拡大するという意味においても、一つの方向性を示した有意義な開催になったと捉えています。

【連合役員と流通科学大学生の集合写真です。】



【案内板】



【各ポイントでクイズ出題】



【家族みんなで一歩ずつ】



【受付風景】



## 6. 市民救命士講習会開催(防災福祉コミュニティ)

### (1)日程

①令和4年12月9日(土)

②令和5年3月26日(土)

(於て ①②共学園東地域福祉センター)

### (2)神戸市消防局消防士の皆様のご指導の許、ブロック長20名が参加(3月実施分)

①人形を使って三角巾を用いたケガの応急手当

②AEDを使用しての呼吸や心臓が止まった時の応急手当

### (3)救命措置の重要性

心臓や呼吸が止まった人の命が助かる可能性は、心臓と呼吸が停止してから約10分の間に急激に低下します。神戸市の場合、救急車を要請してから現場に到着する迄に約9分かかるそうです。従って、救急車が到着するまでに居合わせた人の救命措置により傷病者の救命効果は格段に高まることとなります。

新型コロナも5月8日にはインフルエンザと同等の第5類に分類されることが決まっています。令和5年度は、従来にも増して地域の多くの方が当該講習会に参加されて、救命救急の一助となることを願っています。

#### 【三角巾を使用しての応急手当】



#### 【AEDを使用しての応急措置】



## 7. 退任ご挨拶

5月14日の学園東町連合自治会定期総会を持ちまして退任しました。振り返ればその時その時の連合役員及び地域の皆様のお力添えを得て、副会長1年及び会長3年の計4年間、恙なく任期を終えられましたこと、この誌面を借りて心から厚く御礼申し上げます。

この4年間の最大のテーマは、年々進む高齢化、それに伴うマンパワー不足、更に拍車をかける共働き世代の増加という時代の流れに対して、地域居住の個人間のコミュニケーション維持を如何に両立させるかだったと思います。自ずと地域活動における効率化も必然となり、役員の仕事内容の見直し、イベントに携わる人員・業務の省力化、等を実施して来ましたが、行着く処学園都市の特性を生かし、従来以上に地域立地の大学・学生との協同を深める事に尽きると考えています。

先般のウォークラリーが一つの答えなのではないかと思えます。引き続き皆様と共に学園東町に居住する一人として、「安全、安心、交流のあるまちづくり」に向けて出来ることを実践していきたいと考えております。また、新会長の下での新たな地域活動により、今迄とは違った新たな景色が見えることを願っております。

奥浦 小司